

地方や民間等における2020年とその後を見据えたクールジャパン推進の取組について、官民や異業種等の連携により、商品・サービス等の海外展開やインバウンドを後押し

地方版クールジャパン推進会議

2020年に向け、地方におけるクールジャパン推進に係る官民・異業種が連携した取組を後押し

- 地域の魅力あるクールジャパン資源を効果的に発信・展開し、海外の成長を取り込むことを目的として、クールジャパン戦略担当政務が、会議開催地域で活躍する民間事業者等と一緒に、海外展開やインバウンドの取組に関する成功事例や課題を議論。
- 11月13日に大分県別府市で開催した第9回会議では、鶴保大臣、大分県知事、別府市長、地方有識者等の参画を得て、大分県におけるクールジャパン推進に関する成功事例や課題を議論。
- この結果を踏まえ、**大分県における2020年に向けたクールジャパン推進の指針となる「大分県クールジャパン推進イニシアティブ」の策定に協力。**



イニシアティブ骨子

- 「温泉(Onsen)×大分の魅力」等の連携
- 「外国人視点」による大分県の魅力の再発見・効果的展開
⇒ 大分県で活躍する「ポール・クリスティー氏(Walk Japan CEO)」をクールジャパンアンバサダーに任命
- クールジャパン拠点の連携推進
- 大分県の魅力をプロデュース
⇒ 大分県で活躍する「西田陽一氏(おんせん県観光誘致協議会会長)」を地域プロデューサーに任命
- 国及び現地のクールジャパン相談窓口の明確化

→ 他県においても、2020年に向けたクールジャパン推進に係る戦略の策定・実施を後押ししていく予定

クールジャパン拠点の連携促進

2020年に向け、民間等によるクールジャパン拠点のネットワーク構築を後押し

- 2020年を見据えて民間等で計画中的プロジェクト※1も念頭に、クールジャパン拠点のネットワーク構築により情報発信、産業創出、人材育成等を推進するため、先進的な実証プロジェクト※2を実施（28年度補正予算事業「クールジャパン拠点連携実証調査」）。

※1) 羽田地区(羽田空港跡地第1ゾーンのまちづくり)、竹芝地区(「デジタル×コンテンツ」産業拠点)、所沢地区(COOL JAPAN FOREST構想)

※2) アニメの舞台となった地域間連携による一体的な情報発信や、空間デザインを通じた家具・インテリアの魅力の効果的発信等、クールジャパン拠点の連携に取り組む7つのプロジェクトを決定。

- 今後、「クールジャパン拠点構築検討会」において、実証調査の結果も踏まえ、クールジャパン拠点の連携促進に向けた方策やノウハウをとりまとめ（来年4～5月頃を想定）、全国に発信・展開。

クールジャパンの海外発信

海外において、官民連携により日本の魅力を効果的に発信

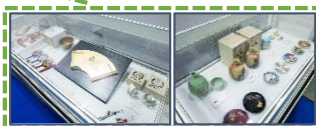
- 東南アジア最大級のアニメイベントである「AFA」(Anime Festival Asia. 11月25～27日 @シンガポール) を活用し、BtoC、BtoBイベントを含む「クールジャパン発信イベント」を関係省庁や民間団体等の協力を得て実施。
- 鶴保クールジャパン戦略担当大臣から、アニメファンや内外のビジネス関係者に日本の魅力や新ビジネスの創出を訴求。グレース・フー シンガポール文化・コミュニティ・青年大臣とも両国間交流の重要性を確認。

AFAにおける内閣府出展ブース



【アニメ聖地ゾーン】

2020年を見据えて全国的なアニメツーリズム事業の展開を目指すアニメツーリズム協会と連携。展示に関連して、JNTOや自治体作成のアニメマップ等を配布



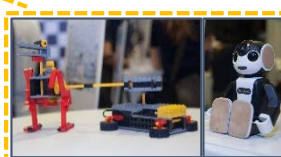
【アニメコラボ製品ゾーン】

民間企業・団体の協力を得て、アニメと伝統工芸のコラボ商品を展示



【アプリゾーン】

国際広報室、総務省、経産省、観光庁等の協力を得て、訪日外国人に役立つアプリを紹介



【ロボットゾーン】

「クールジャパン官民連携プラットフォーム」メンバーの高橋智隆氏(ロボットクリエイター)との協働により、日本の先端技術をPR

- ※ 内閣府出展ブース内において、国際広報室作成パンフレット(Highlighting JAPAN等)等を配布
- ※ BtoBレセプションでは、日本酒造組合中央会や農水省の協力を得て、日本酒の魅力を発信